

土壌団粒化の流れ

①同量の土を用意



同じ畑の土を用意して、それぞれのカップに同量を入れます。
土はどんなものでも構いません。

②片方の水にEB.aエコを混ぜます



同量の水を用意し、片方にEB.aエコを混ぜ合わせます。
希釈倍率は1000倍です。

③EB.aエコ希釈水と普通の水を注ぎます



左側の土には「EB.aエコ」の希釈水を、右の土には普通の水を同量ずつ注ぎます。

④さらに、もう1カップずつ水を注ぎます



両方の土に、同量の水(希釈水ではありません)を注ぎます。
畑に雨が降ったと同じ状態を作り、水の流れをチェックします。

⑤水はけの良い土に



「EB.aエコ」の希釈水をかけた土は、団粒構造になるため、水はけがよくなります。

⑥土の中の不純物が粒子化



土の中の不純物も粒子化したため、中を通ってきた水は不純物が混ざることがなく、透明です。

⑦保湿力も抜群



取り出した土を比べてみると、水を注いだだけの土はどろどろになって崩れていきますが、「EB.aエコ」希釈水を注いだ土は水の中に含んだ状態を維持します。

実験結果から分かる「EB.aエコ」の特徴

- どんな種類の土壌でも、瞬時に団粒化
- 透水性の向上
⇒水はけが良くなり、ネグサレ等を予防
- 通気性の向上
⇒活着と根張りを促進する。
- 土壌中に残留している肥料分も粒子化
作物が残留肥料を吸収しやすくなる
- 土壌の保湿力を高める

TB21エース・ニーム顆粒・肥料などをすべて施した後に「EB.aエコ」を使用してください。